

令和4年度第6回教育研究評議会議事要旨

日時 令和4年9月14日（水） 14時30分～15時20分

場所 オンライン会議（Zoom活用）

出席者 23名

長谷山理事長、穴沢学長（議長）、米澤理事・事務局長、鈴木副学長、齋藤副学長、片桐副学長、沼澤副学長、高橋保健管理センター所長、山田言語センター長、深田情報総合センター長、大津 CGS 教育支援部門長、池田経済学科長、金商学科長、岩本企業法学科長、赤塚一般教育系学科主任、中浜現代商学専攻長、籾本アントレプレナーシップ専攻長、手島教授、中島教授、國武教授、加地教授、沼田教授、クランキー教授

欠席者 1名

プラート CGS グローカル教育部門長

公欠者 3名

江頭副学長、玉井 CGS 産学連携推進部門長、乙政教授

陪席者 2名

檜山監事、西原監事

議事に先立ち、前回7月20日開催の令和4年度第5回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 教員の昇任人事について

穴沢学長から、7月13日開催の学部昇任教授会において、教授昇任候補者として選出された准教授について、審査委員会での審議を経て、9月7日開催の学部昇任教授会において、審査委員会より審査報告があり、審議及び投票の結果、以下のとおり承認された旨発言があった。

〈教授昇任を可とする者〉

経済学科 白田 康洋 准教授

経済学科 土居 直史 准教授

その後、穴沢学長から、審議資料1に基づき、以上2名の審査結果について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、教授昇任の発令は、本年10月1日付けで行う予定であり、10月5日開催予定の学部教授会において、教授昇任者の報告を行う予定である旨併せて発言があった。

議題2. アントレプレナーシップ専攻自己点検・評価報告書（案）について

齋藤副学長から、審議資料2に基づき、アントレプレナーシップ専攻自己点検・評価報告書（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、本件については9月末までに公表する旨発言があった。併せて、審議の過程における軽微な修正については、齋藤副学長に一任された。

また、穴沢学長から、本自己点検・評価報告書を用いて、本年10月から来年1月の期間で外部評価委員会による外部評価を受け、その結果を公表する予定である旨発言があった。

議題3. 特認教授及び特認准教授の称号授与について

穴沢学長から、審議資料3に基づき、特認教授及び特認准教授の称号授与について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、評議員から主として以下の意見等があった。

○付与期間に違いがある理由を伺いたい。

→今年度後期の授業を担当するためである。

○称号授与の担当はどこなのか伺いたい。

→全学人事委員会の所掌となる。

○竹中氏の推薦者が情報総合センター長となっているが、本来であればCGS教育支援部門長が適切ではないのか。

→小樽商科大学特認教授及び特認准教授称号付与規程第4条で、「学科長等(学科長, 学科主任, 現代商学専攻長, アントレプレナーシップ専攻長, 附属図書館長, 言語センター長, 保健管理センター所長, 情報総合センター長, アドミッションセンター長, グローカル戦略推進センター各部門長及び国際連携本部長)からの推薦」となっているので問題はない。今回、竹中氏にはデータサイエンスの業務に携わっていただいたので、情報総合センター長からの推薦となっているが、今後は、適切な者からの推薦となるよう全学人事委員会に申し伝える。

報告事項1. 教員の辞職について

穴沢学長から、言語センターBACKER-HOLST Mark Anthony 教授より、令和5年3月31日付け辞職に係る退職願の提出があり、受理した旨報告があった。

報告事項2. 教員の昇任人事に係る手続きについて

穴沢学長から、令和4年5月18日の教育研究評議会において、評議員から、教員の昇任人事に係る手続きについて意見等があったため、8月4日の全学人事委員会におい

て議論し、その結果を報告する旨発言があった。

続けて、企画総務課長から、「教育研究評議会における評議員の発言内容」及び「昇任教授会において学科推薦が可能となった経緯」について説明があった。

説明後、穴沢学長から、以下2点について、全学人事委員会で議論した旨発言があった。

- ・ 7月の昇任教授会での投票による昇任候補者の選出の要否
- ・ 投票の前に学科等の推薦による昇任候補者の情報をオープンにするべきか

その後、穴沢学長から、全学人事委員会で議論した結果、以下の運用とする旨発言があった。

- ・ 7月の昇任教授会での投票による昇任候補者の選出は引き続き実施すること
- ・ 投票の前に学科等の推薦による昇任候補者の情報をオープンにすること
- ・ 投票後、昇任候補者を発表する際、学科等の推薦によるものか投票により選出されたものかを併せて発表すること

その後、穴沢学長から、本運用については規定されていないため、規程改正の必要はないこと、また、適用は来年度からとなる旨発言があった。

報告事項3. 令和4年12月期勤勉手当における評価基軸について

穴沢学長から、報告資料3に基づき、令和4年12月期勤勉手当における評価基軸について報告があった。

○次回開催について

次回の教育研究評議会は、10月19日（水）14時30分から開催する。

以上